

子育て支援への提言

事例調査の結果をもとに、「子育て支援活動調査専門委員会」がまとめた子育て支援への提言は、以下の通りである。

子育て支援活動の内容について

- ・ 地域の実情にあった子育て支援が大切である。
- ・ 保護者の生活の実情、保護者の目線に合わせた支援が大切である。
- ・ 参加者主体の活動を取り入れる。
- ・ 新しい参加者を温かく受け入れたり、親身になって相談にのったりするなど、子育て支援スタッフの関わり方が大切である。
- ・ 人間関係づくりの一貫としての子育て支援に目を向ける。
- ・ 街づくりの視点を取り入れた子育て支援のあり方も大切にする。
- ・ きめ細かい個別のニーズに合った場を作ることを大切にする。
- ・ (子育て支援の場に) 参加しない人へも目を向ける。
- ・ 中学生や高校生といった若い世代に育児の現場を体験させることが大切である。

子育て支援組織の運営について

- ・ 組織の長所と短所を理解した上で、どういう支援が出来るのかを考えることが大切である。
- ・ スタッフの意欲を維持、向上させることが大切である。
- ・ 参加者が運営に関わることも大切である。
- ・ 何かをやりたいと思っている人を巻き込む「きっかけ提供」を大切にする。
- ・ 地域住民やボランティアの人の意志を活かせる取り組みが必要である。
- ・ 視野が広がったり、全体を見渡せたりする人の存在が大切である。
- ・ 子育て支援をサービス化しない。

子育て支援ネットワークについて

- ・ 行政側との連携を大切にする。
- ・ 色々な立場、役割を持った人が連携することが大切である。
- ・ 子育て支援に関して、地域住民の共通理解を得られるよう努力することが大切である。
- ・ 行政、商店街、市民等の共同体という形で、子育て支援を盛り上げていくこともできる。

その他

- ・ 他の家庭の子育てを知ることも大切である。
- ・ 子育てに関しては、昔のことには固執せず、今の現状にあったアドバイスをすることが大切である(親教育のあり方を見直す)。